

# 芸術の見方2.0

美術館×演劇という新しい提案



## 意図

近年、美術館の来館者数は増加傾向にあります。  
SNSで話題になるなど、美術館ブームが来ているからです。  
このブームを「ブーム」で終わらせないためには、  
美術館を何倍も楽しむ方法を伝え、  
「文化」として生活の一部にすることが重要です。

私はパリ研修旅行に行く際、元校長で洋画家の入江観先生に、  
美術館に行く前には、作家や作品の背景について  
事前学習しなさい、と教わりました。  
パリでは作品の前で絵を描いていたり、バレエを踊っていたり、  
様々な美術鑑賞の在り方を目の当たりにしました。  
そして、知識をつけたうえで見た作品は、  
平面から一変して、立体のように奥が見えるという体験をし、  
この経験から、新しい

### 「芸術の見方」

を知りました。

芸術の鑑賞の仕方は、十人十色には違いありませんが、  
より味わい深い方が良いでしょう。  
老若男女全員に分かりやすく、「昔」を「今」として共有できる  
演劇で、作者について辿ってから作品を見ることで、  
芸術の新しい魅力を見つけることができ、文化として根付きます。  
そんな美術鑑賞の造詣が深まる、新たな芸術の世界を提供します。  
企画展初日に、200名を招待し、劇を見てから作品鑑賞することで、  
見方が変わる感動を実際に体感してもらいます。

YouTubeにて、ライブ配信することで、  
世界中の人に共有でき、動画を上げることで、  
様々な層に、芸術鑑賞に興味を持つきっかけを作ります。  
そのようにして芸術の「新しい」見方を伝える、

### 「芸術の見方2.0」

を、提案します。

## ■ 内容

### 芸術の見方2.0

一人の作家を取り上げた企画展を実施し、  
展示される作品の代表作をクローズアップして、  
作家の人生や作品の背景を、  
誰にでもわかりやすく表現でき、世界観に没入できる、

### 「演劇」

で伝え、もう一歩先の、新たな芸術の世界へと誘います。

## ■ 概要

### 【日時】

企画展初日、オープニングセレモニーにて

### 【会場】

全国の美術館

### 【来場予定者】

インフルエンサー50名

関係者50名

一般客100名（抽選）

計200名

### 【宣伝方法】

YouTubeでライブ配信

公演終了後、通常公開

## コンセプト・マップ

# 日本に芸術文化を根付かせる

### 課題

美術館ブームが来ているものの、話題性からの来館が多い

### 原因

- 知らないアーティストの展示に興味がない
- 写真映えしない美術館は知らない人が多い
- SNSで話題になる以外に知るきっかけがない

このブームが過ぎたとき、  
美術館が廃れてしまう

### 解決の方向性

- ・ 見どころだけでなく、代表作の制作背景、作者についてを想像させる伝える
- ↓
- ・ 老若男女問わず理解しやすい演劇を、美術館を舞台に行い、作者の知識を深めた後、作品鑑賞することで、新しい芸術の見方を体感してもらう
- ↓
- ・ YouTubeで配信することで、興味のない人にも知るきっかけを作る。

### 人間の真理

- ・ 興味を持つと、より知りたくなる
- ・ 理解できると気持ちいい
- ・ 新しいものに惹かれる
- ・ 自分の想像を超える物事を面白いと感じる

作品、作者について演劇で伝える

# 芸術の見方2.0

美術館×演劇  
の提案

## オープニングセレモニー当日の流れ

### 演劇鑑賞

作品の作られた背景や作者について、脚本からすべてオリジナルの20分～30分程度の演劇を、作者と同じ時代を生きているかのような感覚を覚える空間演出を施した展示スペースで、鑑賞していただきます。

### 作品鑑賞

演劇で予備知識をつけたうえで、まずはクローズアップした代表作から鑑賞していただき、作品の世界に引き込んだ後、5～7グループに分かれ、作者の他の作品を、学芸員の解説と役者のエスコート付きで鑑賞していただきます。  
このようにして、「**芸術の見方2.0**」の最大の魅力である、新しい芸術の見方を体感していただきます。

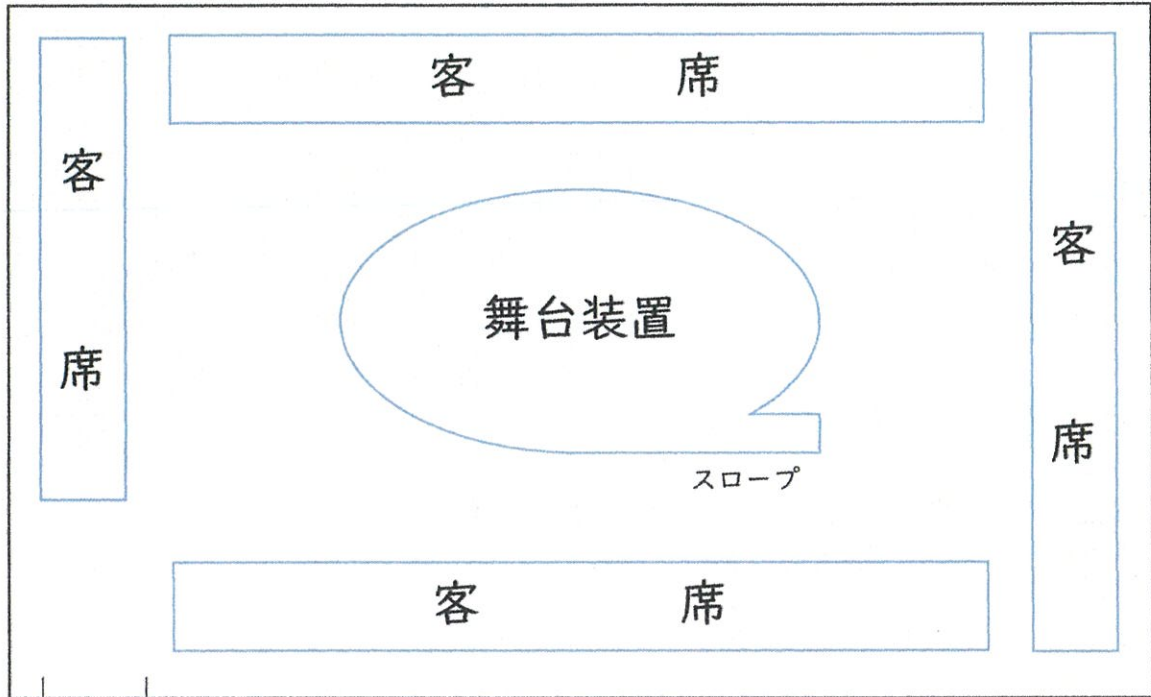
### 記念撮影

作品鑑賞後、「**芸術の見方2.0**」を普及させる取り組みの一環として、役者と写真を撮ることができるコーナーを作ります。  
また、SNSで拡散しやすいように、書割も設置し、自由に写真を撮っていただけます。



■  
会場

アーティゾン美術館 6階無柱展示室



開場：午前9時30分  
開始：午前10時  
美術館長あいさつ  
学芸員より企画展の説明  
開演：午前10時30分  
30分間の演劇  
鑑賞：午前11時より  
約30名7グループに分け  
役者のエスコートと共に、  
5階、4階の20点の展示  
作品を、学芸員の解説付で  
鑑賞  
12時30分より写真撮影  
～自由解散

少女A着用衣装



## 実施内容イメージ

### モディリアーニ展

**題名:**モディリアーニと彼女

**会場:**北九州市立美術館

福岡県北九州市戸畑区西鞆ヶ谷町 21-21-1

**日時:**7月12日

北九州市立美術館エントランス

**出演:**コロ (コロブチカ)

演劇、アーティスト、ファシリテーター。  
脚本や演出を手掛ける他、翻訳劇に挑戦するなど、  
勢力的に活動の場を広げる。  
ピョピョレボリューションを旗揚げ、  
現在は一人劇や朗読劇など、多方面で活動している。

**内容:**モディリアーニの壮絶な人生をジャンヌ目線で、  
一人五役の一人劇で勢いよく辿る演劇

#### あらすじ

彫刻作品を主に作っていたモディリアーニだったが、若いころから患っている肺結核により体が弱く、資金も不足していたため、絵画に転向するも、なかなか売れず、貧乏な生活を送っていた。

ある日、ジャンヌは通っていたアカデミーで、博識な男性モディリアーニに出会い、木炭を貸したところから親しくなる二人。貧しいものの、彼に惹かれ、同棲をはじめた。

彼は個展を開催するも、裸婦画が問題となり警察が踏み込む騒ぎになり、落ち込んでしまった様子。

そのうち彼は、肺結核に苦しみ病状は悪化、薬物依存や不摂生が重なり、35歳という若さで死んでしまった。

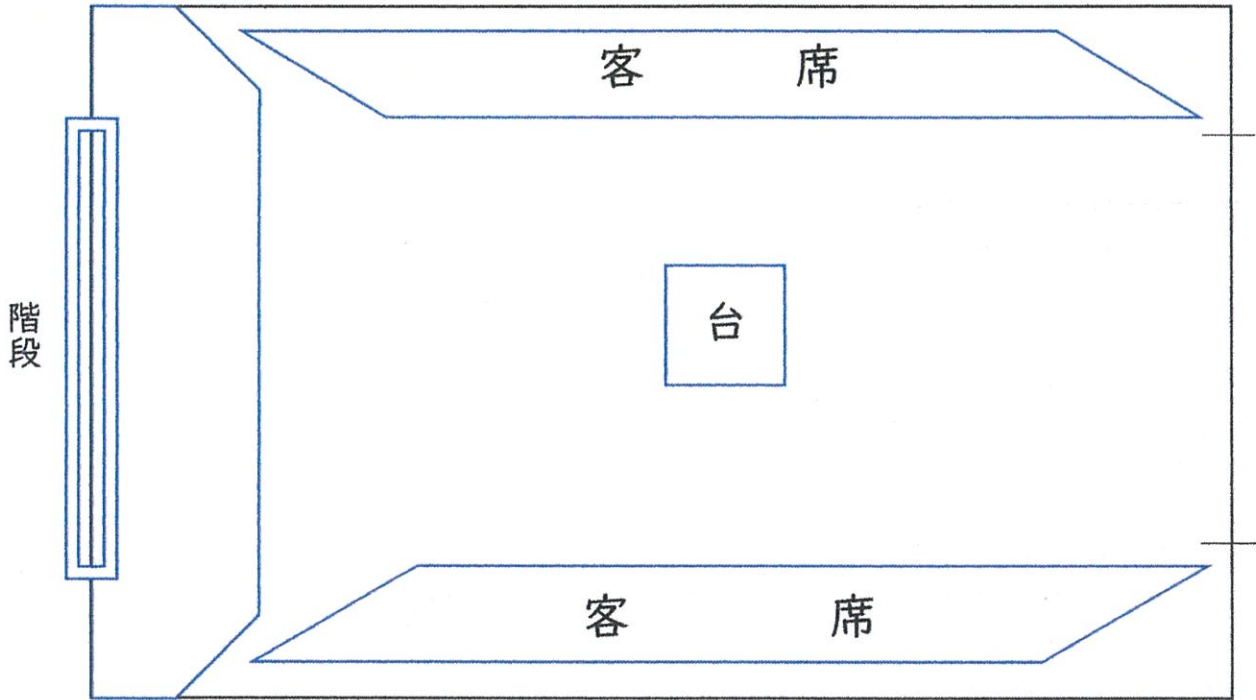
一人になってしまったジャンヌ。二日後、ジャンヌも妊娠9か月だったが、彼の後を追って、自宅から飛び降り自殺したのだった、、、。

ジャンヌ像



■  
会場

北九州市立美術館エントランスにて



着用衣装

開場：午前9時30分  
開始：午前10時  
美術館長あいさつ  
学芸員より企画展の説明  
開演：午前10時30分  
20分間の演劇  
鑑賞：11時より  
約30名7グループに分け  
2階3階の25点の作品を  
学芸員の解説付きで鑑賞  
12時30分より写真撮影  
～自由解散





## 参考文献

- ・タウンページ 美術館の来館者層

[https://tpdb.jp/townpage/order?nid=TP01&gid=TP01&scrid=TPDB\\_G171](https://tpdb.jp/townpage/order?nid=TP01&gid=TP01&scrid=TPDB_G171)

- ・コトバンク モディリアーニ

<https://kotobank.jp/word/%E3%83%A2%E3%82%B8%E3%83%AA%E3%82%A2%E3%83%8B-142350>

- ・西洋絵画美術館 ルノワール

<https://artmuseum.jpn.org/profilerenoir.html>

- ・アートペディア モディリアーニ

<https://www.artpedia.asia/amedeo-modigliani/>

- ・アート名画館 ルノワール

<http://blog.meiga.shop-pro.jp/?eid=69>

- ・美術手帖 北九州市立美術館

<https://bijutsutecho.com/museums-galleries/436>

- ・産経新聞 アーティゾン美術館

<https://www.sankei.com/life/news/191006/lif1910060012-n1.html>

- ・巨匠に教わる絵画の見方

視覚デザイン研究所 編